

少年男子団体悲願の栄冠

ゴルフ

△ゴルフ▽

(滋賀県琵琶湖CCほか)

▽成年男子団体最終成績 ②栃木444(224、220)吉田

75、石川70、松枝75

▽同個人最終成績 ②石川巧1

42(72、70)⑤吉田凜世147

(72、75)⑩松枝靖悟155(80、75)

▽女子団体最終成績 ⑩栃木4

50(234、216)斎藤70、五月女74、松枝72

▽同個人最終成績 ①五月女愛

来147(73、74)②斎藤愛桜1

48(78、70)⑦松枝未倅155

(83、72) ⑧少年男子団体最終成績 ①栃木411(204、207)糸谷

73、佐藤71、林田63

▽同個人最終成績 ④佐藤ミラ

1135(64、71)⑥林田遼汰1

36(73、63)①7糸谷海翔140

(67、73) ②9日・滋賀県琵琶湖CCほか

▽成年男子団体第1日成績 ②9

栃木224(吉田72、石川72、松枝80)

▽同個人第1日成績 ④吉田凜

世72④石川巧72②松枝靖悟80

▽女子団体第1日成績 ⑦栃木

234(斎藤78、五月女73、松枝

83)

83)

83)

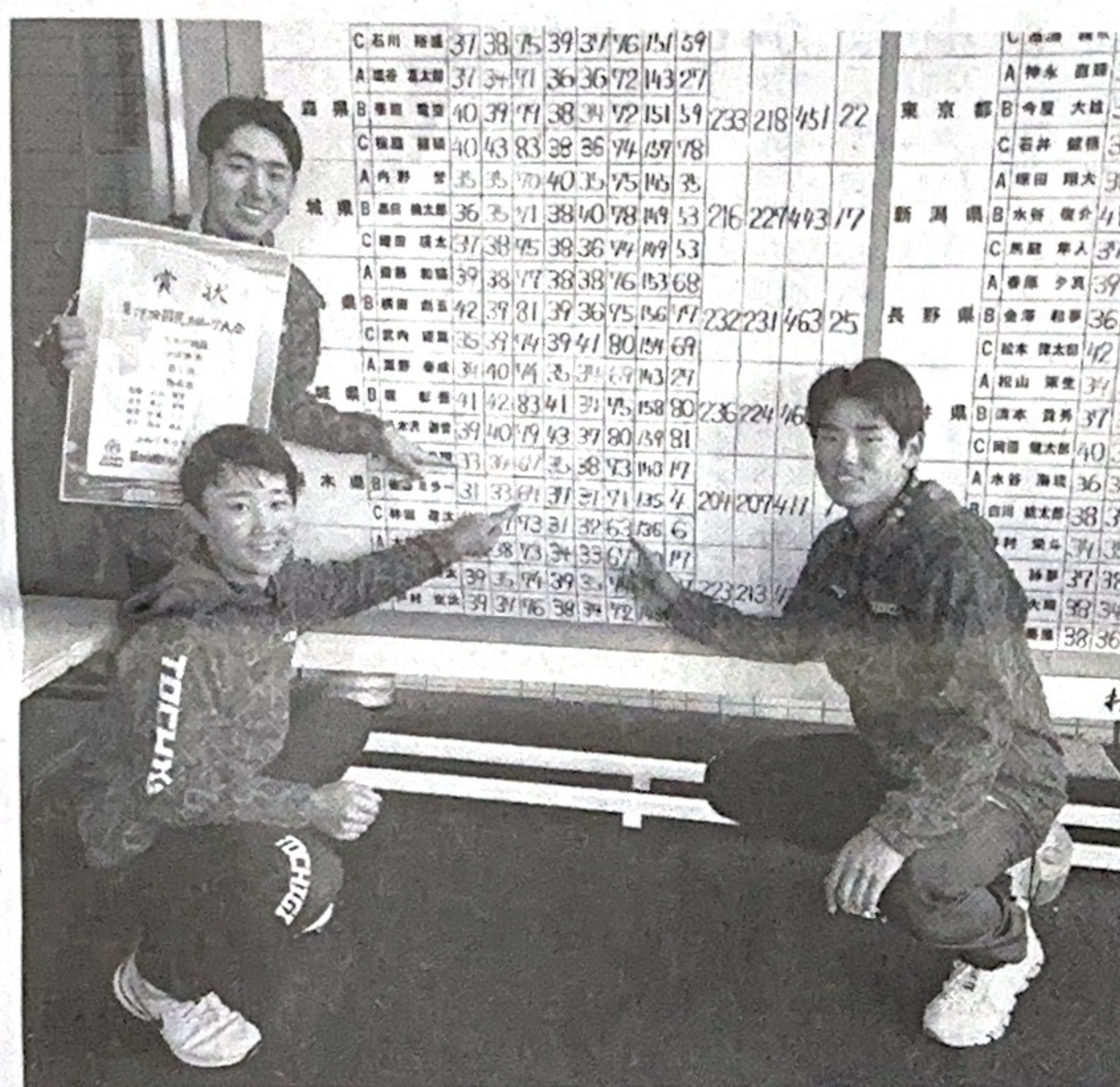
83)

83)

83)

83)

83)



スコアボードを指さし、優勝を喜ぶゴルフ少年男子団体の本県チーム。左から糸谷、佐藤、林田＝ベアズパウジャパンCC

グリーンサイド

悲願の初優勝だ。ゴルフの少年男子団体を本県が制し、同競技全種別を通じて県勢初の栄冠をもたらした。大谷勝彦監督は「よくやってくれた。監督冥利に尽きる」と3選手をたたえた。

初日に佐藤ミラー(佐野日大高2年)が

9バーディー、1ボギーの64でベストスコア賞に輝き、チームを引っ張った。

最終日は林田遼汰(同1年)が2イーグ

では栃木東中3年で団体2位の原動力となった主将の糸谷海翔(作新学院高3年)は、2日間4アンダーでも主役になれなかったが

「最終日73で不本意だが、後輩たちの頑張り

でいい思い出ができた」と優勝を喜び、林田は「うれしい。来年も優勝したい」と目を輝かせた。

(井上孝男)

全種別通じ初の快挙

ル、5バーディーの63をマークし、コースレコードとベストスコア賞を獲得する完勝だった。

2022年のとちぎ国体

▽同個人第1日成績 ②五月女田73) 愛来73②斎藤愛桜78④松枝未倅83

▽少年男子団体第1日成績 ②83 栃木204(糸谷67、佐藤64、林

ラ164⑥糸谷海翔67④林田遼汰73